

写真/市消防操法競技会の小型ポンプ部門で優勝した、第5分団第2部の1番員・菊池拓也さん(左)と指揮者・糠森王春さん。放水にあたる表情は、消防団員の使命感に満ちあふれていた



特集1

消防団

～守りたい人がいるから～

「自分たちの地域は、自分たちで守る」という高い志を持つ「消防団」。団員は、普段はそれぞれの仕事をしながら、災害発生時はいち早く現場に駆け付けてくれる頼りになる存在だ。

この特集では、安全で安心な暮らしを守るために活動する消防団の実態に迫り、災害に強い地域づくりについて考える。

Contents 目次



- 03 **特集1** 消防団
守りたい人がいるから。
- 16 **「いじめ」から** **特集2**
子どもを守るために
- 20 総合カレンダー
- 22 台湾と伊能嘉矩
- 24 キラッと、遠野人。
- 26 健診(検診)のお知らせ
- 27 **我ら、国体応援団!**
- 28 学びのいずみ
- 30 インフォメーション
- 32 まちの話題
- 35 綴じ込みチラシ
- 38 みんなの広場
- 40 青春のトーク ほか

Statistics 各種統計

市の人口(5月末現在)
 男性:13,738人(-36)
 女性:14,699人(-39)
 計:28,437人(-75)
 高齢化率:37.1%(+0.1)
 世帯数:10,894世帯(-7) ※()内は前月比

交通事故発生件数(5月中)
 物損35件 人身3件 死者1人

救急車出動回数(5月中) 95回

火災発生件数(5月中)
 建物0件 林野0件 車両0件 その他0件

Public Relations 広報広聴

ホームページのご案内
情報満載の市ホームページでは、広報遠野の最新号やバックナンバーもご覧いただけます。

遠野市

市政なんでも相談箱のご案内
市への意見・提言、広報遠野への感想などは、主要施設に設置している「市政なんでも相談箱」(右図)か、市ホームページの「お問い合わせ」までお寄せください。



7月から8月が発症のピーク! 熱中症を予防しよう!

本格的な夏を迎え、暑さもこれからが本番。この時期に、特に注意しなければならないのが熱中症です。熱中症から命を守るポイントを紹介します。
◎問い合わせ 市保健医療課(☎62-5111内線20)

発 汗により体の水分が奪われ、体の中に熱がこもり、さまざまな症状に襲われる「熱中症」。重い場合は、命に関わることもあります。▶日中の屋内▶体育館▶ビニールハウス▶調理中の台所一などの高温多湿な場所は、要注意。また、体調が悪い時や、高齢者と子どもは発症リスクが高いと言われています。

ポイント1 涼しい空間づくり
室内では、すだれやカーテンなどで直射日光を防ぎ、クーラーや扇風機を活用しよう。

ポイント2 こまめな水分補給
水筒やボトルを携帯し、喉が渇いたと感じる前に、こまめに水分補給しよう。

ポイント3 日中の外出を控える
日中の外出を避け、外出する時は、日傘や帽子を活用しよう。





ポンプ車部門優勝
第9分団第2部
部長
菅原直さん

全国に向け好発進

悲願の全国大会出場を目指し、気合いを入れて訓練に励んでいます。培った技術は、実際の火災現場でも生かされます。全国レベルの技術と連帯感を身に付け、地域を火災から守っていきます。



小型ポンプ部門優勝
第5分団第2部
指揮者
糠森王春さん

団結力高める機会に

この日に向け毎日のように訓練してきました。優勝はしましたが、まだ9割の完成度。県大会でも優勝できるよう、さらに訓練に励み、部員の団結力をますます高めたいと思います。



女性団員唯一の出場
第11分団第4部
2番員
廣川ゆりさん

訓練することが大切

訓練でできないことは現場でもできないと思っ初出場。競技会を通じ、部員の連帯感が高まり、私自身の技術も身に着いたと実感しています。競技会に向けた訓練にこそ、意味があると思います。

Result 大会結果 ※上位入賞のみ

【ポンプ車部門】

1位…第9分団第2部(宮守町上宮守地区) 2位…第5分団第4部(松崎町松崎地区) 3位…第7分団第1部(青笹町善応寺地区)

【小型ポンプ部門】

1位…第5分団第2部(松崎町光興寺地区) 2位…第10分団第6部(宮守町達曾部湯屋地区) 3位…第9分団第6部(宮守町下郷地区)
★上記入賞チームは、7月3日開催の県大会遠野釜石地区支部予選に出場



7_大会4連覇の第9分団第2部。安定した操法を展開した 8_火点に向かって放水する団員。的が倒れるまでのタイムが勝敗を分かつ 9_指揮者の掛け声が会場に響き渡り、統率のとれた操法が展開された 10_筒先交代の緊張の瞬間。指揮者から1番員にホースが手渡される



第5回遠野市消防操法競技会 ダイジェスト

迅速な消火活動に必要な消防操法技術。その正確さとスピードを競う競技会が開かれた。日頃の訓練の成果を披露する、団員の雄姿をカメラが追った。

1秒でも早く、
1ミリでも正確に。

特集 消防団 守りたい人がいるから。

る団員の表情は真剣そのもの。阿吽の呼吸で繰り広げられる一糸乱れぬ動作は、プロの消防職員と見間違うほどだった。団員の雄姿に、駆けつけた地域住民や家族から、熱い声援が送られた。

団員は競技会に向け、約1〜2か月間に渡り、訓練に励んできた。それぞれの仕事が終わった平日の夜などに、各地区の広場や市総合防災センターに集まり、繰り返し繰り返し、技術を確立。訓練を通じて、チームの連帯感も磨いた。競技会で培われた消防力は、火災発生時に、地域住民の生命と財産を守ることにつながる。真剣に消防操法にあたる団員の姿が、そこにはあった。

第5回市消防操法競技会
は6月19日、市総合防災センターで開かれ、団員は消防団の本領である消火活動の技術を競い合った。

競技会は2年に1度開催され、団員たちが日頃の訓練の成果を披露する晴れの舞台だ。上位入賞団体は、遠野釜石地区予選に出場し、優勝すれば県大会、さらに全国へと駒を進める。遠野は、県内でも有数の強豪地区。ポンプ車部門に13団体、小型ポンプ部門に25団体、計192人が出場し、頂点を目指す熱い戦いが繰り広げられた。

競技は、待機線から約60メートル先にある火点に放水し、動作の正確性とスピード、チームワークを競うもの。ホース延長、ポンプ操作、放水などの一つ一つの動作について、減点加算方式で得点化される。1ミリでも正確に、1秒でも早く。消防操法を披露する



1_ 真剣なまなざしでポンプを操作する団員 2_ 阿吽の呼吸で給管を伸長 3_ 小型ポンプは点火と同時にエンジン全開。甲高い音が辺りに響き、団員の緊張感も最高潮に 4_ 接続点を目指し、全力疾走する団員。競技会では走力も試される 5_ ホースを素早く延長する団員。火点に向けて直線的に伸ばす技術が求められる 6_ 歯を食いしばって走る団員たち。「1秒でも早く」が合言葉だ





1

1_津波により発生した山火事を消火するため、市消防団は大槌町の現場へ。現地の消防職員や消防団と連携し、鎮火にあたった

2_発災直後の緊急会議に参加し、情報収集する消防団長の細川巖さん(当時)。遠野消防署などと連携して消防団の活動を指揮した



2

緊急時

Column コラム

東日本大震災で生かされた、消防団のチカラ。

東日本大震災では、市消防団は発災直後から消防署などと連携して、安否確認や被害状況の把握、夜通しの警戒活動にあたり、市民の安全と安心の確保に努めました。また、市内での活動にとどまらず、沿岸被災地への後方支援活動も展開。救援物資の搬送のほか、大槌町の火災現場で消火活動にもあたりました。これらの活動を迅速に展開できたのは、消防団が、日頃から災害を想定した訓練に取り組んでいたから。大規模災害時こそ、消防団の力が重要なのです。

徹底分析！ 消防団の防災力

消防団は災害から地域を守るボランティア組織。災害時だけでなく、平常時からさまざまな活動を展開している。消防団の持つ防災力について紹介する。

Power Missions

■ 主な役割

災害時

消火活動

風水害対応

捜索活動

後方支援活動

平常時

各種訓練

予防活動

各種点検

啓発活動

各分団の管轄地域で建物火災や山林火災などが発生した場合、遠野消防署の指示に基づき、管轄分団の全車両が現場に向かいます。従事する消防団員は、勤務に支障のない範囲で職場を離れ、現場活動を行います。

このほか、地震や風水害などの大規模災害時は、全分団が現場対応や警戒活動、後方支援活動などを行います。また、行方不明者などの捜索活動も消防団の役割です。

年2回の火災予防週間には各家庭を訪問し、防火指導と防火設備の点検をし、予防・啓発活動に取り組んでいます。また、災害時の要援護者の把握なども行っています。

年1回開催する消防演習では、ポンプ操法や規律訓練など、日頃の訓練の成果を披露。防災訓練では、自主防災組織などと連携し、消防車両での管轄地域の被害状況の把握、住民避難誘導などを行い、地域の防災力向上に務めています。

■ 各種データ

Data

- 沿革 昭和29年、旧遠野市消防団設立。同30年旧宮守村消防団設立。平成19年、両団が合併し現在に至る分団数11、部数68(うち、10分所)。
- 組織 このほか、消防ラッパ隊を組織。統括は団本部が行う
- 団員数 915人(本年4月1日現在)。うち、機能別消防団76人。定員は935人で、定員充足率は約98%

- 車両数 自動車ポンプ15台、小型ポンプ積載車53台
- 表彰歴 平成25年11月、東日本大震災における災害活動が評価され、内閣総理大臣賞受賞。同28年3月、地域と連携した活動が評価され消防庁長官賞受賞
- その他 消防ラッパ隊は、全国的に有名。昨年は友好都市の愛知県大府市でドリル演奏を披露した

Interview インタビュー

遠野消防署長 菊池 孝 さん
Takashi Kikuchi

地域に必要不可欠の存在

消防団は地域防災の要。地域密着の活動で、市民の生命と財産を守る、ボランティア組織です。

「もし、消防団がなかったら…」と想像すれば、消防団の必要性がすぐに分かるといえます。例えば、現在の団員数915人という大きなマンパワーがなければ、大規模災害には太刀打ちできません。山林火災も同様です。地域に精通する消防団の下支えがあるからこそ、災害時、消防署の職員が迅速に活動できるという点も見逃せません。

消防団の活動が活性化することは、地域の安全に直結します。家庭や職場、地域の皆さんは、ぜひ、消防団活動へのサポートをお願いします。

消防団とは

消防団は、地元住民で構成される、市町村の消防機関。常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害時に自宅や職場から現場へ駆け付け、その地域での経験を生かした活動を行う。団員の身分は非常勤特別職の地方公務員だが、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という高い志を持ったボランティア。団員は、仕事や家庭の合間を縫っては地域を守るための活動に尽力している。

市消防団は、地区ごとに11分団、集落ごとに68部・10分所を設置し、消防コミュニティセンターや消防屯所など

消防団が必要な理由

日本は、地震や台風、豪雨などによる大規模災害が頻発する「災害大国」と言われている。本年4月には、「平成28年熊本地震」が発生し、友好都市の菊池市も被災している。

を拠点に活動。本年4月1日時点の団員数は915人だ。分団ごとに防災計画を策定。遠野消防署をはじめとする関係機関と連携し、地域の実情に即した活動を展開している。災害時は▽消火活動▽捜索活動▽後方支援活動などをを行い、平常時は▽有事を想定した各種訓練▽装備の点検▽地域住民への予防・啓発活動などを行っている。

市の菊池市も被災している。被災現場が広域になる大規模災害では、▽地域の実情をよく知っている▽災害対応のノウハウがある▽一定の動員力があるという特性を持つ消防団が、大きな力を発揮する。東日本大震災では、市消防団は、発災直後からさまざまな活動にあたり、市民の安全と安心の確保に尽力。沿岸被災地への後方支援活動も展開した。

いつ起こるか分からない大規模災害に迅速に対応するには、消防団の組織力が必要不可欠。消防団は地域防災の要であり、災害に強く、安全・安心な地域づくりにはなくてはならない存在なのだ。

Topic トピック

平常時

消防演習で、市民の防災意識を啓発。

平成28年度遠野市消防演習は5月31日、早瀬川緑地公園などで開催され、消防団員や婦人消防協力隊員、少年消防クラブ員ら約530人が参加しました。消防演習は、消防団などの防災力を確認するだけでなく、市民の防災意識の啓発のために毎年開催。当日は、穀町通りでの分列行進に始まり、緑地公園では、小隊訓練や消火・放水訓練、ラッパ隊ドリル演奏、県防災ヘリによる救助訓練などを実施。多くの市民が観覧に訪れ、備えの重要性を再確認しました。

1_統率のとれた分列行進で団結力をアピール 2_消防ラッパ隊は、迫力あるドリル演奏を披露した 3_圧巻の一斉放水



1



2



3

特集
消防団
守りたい人がいるからー。

3年前に消防署の移転を機に消防団新設。

松崎町新張地区

消防団活動は、地域づくり活動と同じだ。

3年前、遠野消防署が市総合防災センターに移転するのをきっかけに、私たちの地区に消防団が新設されました。新たに入団した16人は全員が未経験者。正直、最初は右も左も分からず途方に暮れました。しかし、「今後は自分たちの手で地域を守らなければ」という共通の使命感があり、団員は一致団結して訓練。設置から3カ月後には、消防操法競技会に初出場しました。2回目となる今回は、前回よりも成績を上げようと、真剣に、そして楽しみながら訓練にあたりました。

地域に消防団が設置されたことで、地域の防災意識は高まっています。活動に興味を示し、協力してくれる人も増えました。消防団は、地域の要となる存在なんだと、改めて実感しています。

消防団活動は、地域づくり活動の延長線上にあることも実感しています。祭りやイベント、地区行事などを通じて地域のことを知り、地域住民とコミュニケーションを図ることが、有事の活動に生かされるから。団員として、そして、地域の一員として、活動していきたいですね。



Toshimasa Oyama

部長
小山 利昌 さん
(45歳、松崎町)

1_新設された消防コミュニティセンターの前で、器具の点検を行う団員 2・3_今大会では前回より順位を2つ上げた。慰労会では、団員間の懇親を深めた



地域住民の声

松崎町第8区長
菊池 長悦 さん



住民の防災意識が向上

消防団の新設に伴い、以前は無かった火防点検が実施されるなど、地域住民が防災について考える機会が増えました。地元住民として、消防団の活動をバックアップしていきたいと思っています。また、自主防災組織と消防団の連携も強化していきたいですね。

少子高齢化に悩むも、活動の効率化で地域を守る。

宮守町達曽部小通地区

高齢化が進む地域のために、やるべきことがある。

少子高齢化の問題は、私たちの地区も例外ではありません。地域の若者が減少し、消防団の担い手不足が悩みます。そんな中、私たちは活動の効率化に取り組んでいます。消防操法競技会に向けた訓練は、毎日やるのではなく、全員が集まれる日だけ実施。メンバーのほとんどが会社員ということもあり、自然と短期集中型になったのですが、結果的に訓練効果が高まったと思います。団員の負担軽減は、時間に制約のあるサラリーマンなどへの加入促進にもつながるのではないのでしょうか。

その取り組みもあり、この春、地元の若者が入団してくれました。

高齢化が進む私たちの地域では、消防団の役割がますます期待されています。消火活動や救助活動など、高齢者だけではできないことも、地域の実情を知り訓練を受けた消防団ならできます。平常時の活動は、高齢者などの見守りにもつながります。

先輩たちがそうしてきたように、地域を守るのは、地域に住む私たちです。消防団活動は、できる人が、できる形で続けていくことが必要だと思います。



Tatuhiko Sasaki

部長
佐々木 辰彦 さん
(52歳、宮守町達曽部)

1・2_仕事が終わった平日の夜、消防操法競技会に向けた訓練に集中して臨む団員 3_地域からの信頼は厚い。大会当日は、地域住民手作りのお弁当を囲む姿があった



地域住民の声

達曽部第7区民生委員
木戸 隆子 さん



地元の消防団は心強い

地域の高齢者はまだまだ元気に暮らしていますが、それでも、地域を見守り、いざという時には駆け付けてくれる消防団の存在は、本当に心強いです。見えないところで、時に朝早く、時に夜遅くまで、訓練や活動にあたる皆さんには、本当に感謝しています。

高まる期待

少子高齢化社会が到来して久しい本市。市内の高齢化率は本年5月末現在で37.1%。約3人に1人が65歳以上の高齢者で、高齢者のみの世帯も増加傾向にある。

高齢化が進む地域では、消防団への信頼は厚い。体が不自由な高齢者は、災害時に取り残されてしまう傾向にあるからだ。高齢者を含め、災害弱者をどう守っていくのかが今後の課題。その中で、地域の防災の要である消防団の活動に期待が高まっている。

消防団活動は、地域づくりの一翼を担っている側面も見逃せない。点検や予防・啓発活動、各種訓練などの平常時

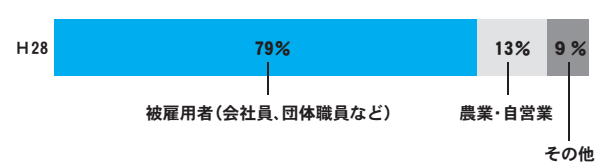
現状と課題

地域での役割が期待されている一方で、消防団を取り巻く環境が変化している。

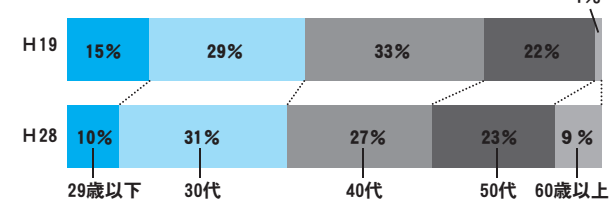
一つは、少子高齢化による担い手不足だ。市消防団の定員充足率は県内でもかなり高い方だが、若手団員は減少傾向で、近い将来、団員が急速に減少する可能性がある。

もう一つは、団員に占める被雇用者(会社員や団体職員など)の増加。かつて、団員の多くは農業者や自営業者だったが、経済環境の変化により被雇用者が増え、現在では約8割に上る。被雇用者の団員は、時間に制約があるため、平常時の活動に負担感が強い上に、災害が発生しても、勤務中はすぐに職場を離れられない傾向にある。これらの課題を踏まえ、団員が活動しやすい環境を整備し、団員確保につながる取り組みが求められる。

消防団員の職業別構成割合の変化 ※端数処理しています



消防団員の年代別構成割合の変化 ※端数処理しています



Data データ

特集

消防団

守りたい人がいるから。

State

少子高齢化に立ち向かう 消防団の現状

消防団は、地域に無くてはならない存在。一方で、団員の担い手の確保が課題だ。2つの地区の事例から、消防団の現状を見つめる。

それぞれの立場で
担い手が減少し、被雇用者の割合が増加している消防団。活動の活性化を図るためには、入団しやすく、活動しやすい環境整備を、地域が一緒になって進めていく必要がある。

特に、被雇用者が増加している現状においては、事業所の理解と協力が不可欠。「消防団協力事業所表示制度」は、活動環境を改善する取り組みとして期待されている（下記参照）。現在、市内で認定されているのは23事業所。認定事業所は、社会貢献活動の一環として、勤務時間中の消防団活動を積極的に認め、従業員への加入促進にも協力している。今後は、制度をさらに浸透させ、支援の輪を広げていくことが求められている。

それぞれの立場で、できる形で消防団活動をサポートしよう。団員の負担が減るだけでなく、災害に強く、安全・安心な地域づくりにもつながるはずだ。

消防団の活動を支える 地域のチカラ

消防団を取り巻く環境が厳しくなっている中、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という消防団の使命感に共感し、それぞれの立場で活動を支えるサポーターを紹介する。

特集
消防団
守りたい人がいるから。



Iwao Kikuchi

(有)菊池板金 代表取締役
菊池 岩男 さん
66歳＝附馬牛町＝

消防団協力事業所

仕事と消防団活動の両立を積極支援

活動を支えることが、
地域の事業所の責任だと思う。

★市内認定事業所数
23事業所

私 自身、40年近く消防団員を続けてきました。退団を機に、今度は支える側にならなくてはと思い、この制度に登録したのです。

私たちの仕事は、市内各地の現場で行います。団員である従業員には、現場付近で火災が発生したら、所属する分団の管轄地域でなくてもすぐに火災現場に行き、地元の分団の消火活動をサポートするように指導しています。

消防団活動は、従業員の仕事に良い影響を与えます。地域密着の活動を通じて、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という責任感が芽生えます。社会の一員であり、地域の一員であるという自覚は、仕事への責任感も育むのです。また、消防団で規律やチームワークを体得することで、勤務中の態度もガラッと変わります。

活動を支援することは、事業所側にもメリットがあります。地域からの信頼を得られるのが一つ。また、火災や自然災害に強い地域をつくることで、安定的な事業の継続につながります。万が一の時は、消防団に助けをもらうこともあるはずだ。

地域で事業を営む以上、事業所が消防団の活動を支援するのは、当たり前なことではないでしょうか。仕事の関係で、入団をためらっている若者がいます。業務形態によって、協力が難しい面もあると思いますが、できることで支援すべきです。

市内の認定事業所が増えれば、担い手不足という現状を打開することにつながります。地域の安全と安心のために、事業所として、果たすべき責任があると思います。

Support

Information インフォメーション

消防団協力事業所を募集しています！

消 防団協力事業所表示制度は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められ、地域の防災力がより一層充実されることが目的。勤務時間中の消防団活動への便宜や、従業員の入団促進などに協力してくれる事業所を「消防団協力事業所」と

して認定するものです。認定されると、認定マーク(右図)を表示することができ、事業所の信頼性が向上するなどのメリットがあります。市は現在、消防団活動を支えてくれる事業所を募集しています。詳しくは、遠野消防署(☎62-2119)まで問い合わせください。



Ikumi Kikuchi
婦人消防協力隊 隊長
菊池 育美 さん
62歳＝青笹町＝

婦人消防協力隊

女性ならではの視点で活動支援

「縁の下の力持ち」のような存在に。

私 たち婦人消防協力隊は、消防団がスムーズに活動できるように支える「縁の下の力持ち」のような存在です。消防署や消防団の要請に応じ、女性ならではの視点を生かした活動を展開しています。

平常時は、消防団の予防・啓発活動などに協力し、消防団の負担軽減を図ります。災害時は、炊き出しや地域情報の提供などを行い、消防団が活動しやすい環境をつくりまします。地域の女性がコミュニケーション

を図る場として、協力隊を盛り上げていければと思っています。その絆が、いざという時に発揮されると思うからです。



★分隊数 8分隊
★隊員数 353人

共助の力で依存体制から脱却

自主防災組織

消防団に、頼りすぎないことが大切。

自 主防災組織は、行政区ごとに組織され、地域を地域が守る「共助」の役割を持ちます。メンバーは地元住民。活動は自治会活動の延長線です。平常時は、消防団と連携した訓練や啓発活動に取り組みます。災害時は、初期消火や安否確認などを行い、消防団の活動を補助します。

大規模災害時は、消防団は第一線で活動するため、すぐに駆け付けてくれるとは限りません。その時は、私たちが自力で対応

しなければならないのです。少しでも、消防団に頼らなくても済む体制づくりが、地域を守ると考えています。



★組織数 89組織
★組織率 98%



Bunichi Yoshida
自主防災組織連絡会 会長
吉田 文一 さん
67歳＝松崎町＝

Topic トピック

綾織小児童が消防操法を披露！

5 月31日に開催された市消防演習で、綾織少年消防クラブの児童が消防操法を披露しました。操法の内容は、大人の団員と全く同じ。火点の標的を倒すと、観客から大きな拍手が送られました。綾織小

だけでなく、市内の少年消防クラブは活動が盛ん。遠野祭りに防火みこしとして参加したり、地域や消防団と連携した啓発活動などに取り組むクラブもあります。市内の児童も、消防団を支えています。

僕たちも、がんばります！





Masanobu Tomimatu
★所属 第3分団第1部
★団員歴 4年目
★職業 農業

活動を通じて 地域の一員になれた。

富松 誠信 さん
27歳=小友町=

最初は、消防団のことがよく分からず、入団をためらっていました。そんな時、東日本大震災が発生。地域のために活動する団員の姿を目の当たりにしたことや、地元の消防団が人手不足という事実を知ったことで、発災翌年に入団を決意しました。活動は年間10日前後。たった10日間で、自分が住む地域の安全がぐっと高まると思えば苦になりません。むしろ、活動に参加すると地域の一員として認められているような気がして、やりがいがあります。訓練や活動は、体力に自信がなくても大丈夫。誰だって消防団員になることができます。やってみれば、意外と楽しいことに気が付くはず。興味がある人は、ぜひ！



Mai Higuchi
★所属 消防ラッパ隊
★団員歴 9年目
★職業 団体職員

消防団をPRする 日本一のラッパ隊に。

樋口 真衣 さん
33歳=宮守町、福岡県出身=

緑のふるさと協力隊員時代に、消防ラッパ隊の活動に初参加。それまで、消防団の存在を意識したことがなかったので、「こうやって地域が守られているんだ」と納得しました。ラッパ隊は、音を出すことに始まり、ドリル演奏、規律まで、覚えることが多いので結構大変。その分、演奏し終えた後の達成感は最高です。遠野のラッパ隊は全国的に有名。県内外で演奏できるのも魅力です。ラッパ隊は、消防団のPR部隊。私がそうであったように、ラッパ隊の演奏がきっかけで、消防団に興味を持ってくれる人が一人でも増えたらうれしいです。ダイナミックに演奏する、日本一の消防ラッパ隊を目指します。



Kazuya Nitta
★所属 第4分団第1部
★団員歴 2年目
★職業 会社員

消防操法競技は、 スポーツ感覚で熱い。

新田 和也 さん
19歳=附馬牛町=

災害が起きた時、助けられる側ではなく、助ける側でありたいと思い消防団に入団しました。今回の消防操法競技会には1番員として初参加。仕事後の訓練は大変でしたが、技術が身に着く感覚や、チームの連帯感が強くなる感じがスポーツに似ていて、どんどんハマっていきました。結果は悔しい4位でしたが、日常では味わえない達成感がありました。地域の人からねぎらいの言葉をもらい、やってよかったと思いました。訓練を通じ、先輩団員の皆さんと交流でき、勉強になりました。地域のことを、より詳しく知ることもできました。習得した技術を生かし、地域を守っていきたくと思います。

若手消防団員に聞く！ 団員のリアル

団員として活躍する若者4人にインタビュー。消防団活動への思いを聞いた。団員のリアルに迫る。

意外と楽しい!?

市消防団では、若手団員の割合は減少しているものの、ボランティア精神にあふれる若者がたくさん活躍している。最近入団した若者の中には、東日本大震災で発災直後から地域のために奔走する団員の姿を見て、「自分も役に立ちたい」と志願した人もいます。震災以降、防災意識の高まりと共に、消防団の必要性が広く認知され、若者の関心も高まっています。若手団員へのインタビューの中で、共通していたのは「消防団活動は意外と楽しい」という感想だ。消防操法競技会に向けた訓練や消防ラッパの練習は、仕事後に行うため、大変だと感じることもありますが、

思いに応えるために

市は、意欲ある活動を応援するため、団員の待遇向上に取り組んでいる。本年度は、訓練や災害対応への出動手当を、1日あたり1600円から2000円に増額。さらに、全員に防寒衣を新たに支給する。行政としてできる支援策を、今後も検討していく予定だ。

消防団Q&A

知っているようで知らない、消防団のリアルをQ&Aで紹介します。

Q 消防団員とは？

A 消防団員は、各自の職業につきながら、災害時の消火活動や救助・救出活動、平時の訓練や防火・防災活動に従事しています。身分は、非常勤特別職の地方公務員です。

Q 待遇は？

A 年間に一定額支払われる年額報酬と、災害活動または訓練に出動した際の出動手当が支給されます。このほか、公務災害補償、制服貸与、退職報奨金、表彰制度などがあります。活動を後押しするため、市は、本年度から出動手当を増額したほか、全団員に防寒衣を新たに支給します。

Q ラッパ隊員も募集している？

A 男女ともに募集しています。音楽経験は問いません。市消防ラッパ隊は全国的にも有名で、各種行事をはじめ、県内外の消防イベントで活躍しています。今年は、友好都市の兵庫県福崎町でドリル演奏を披露する予定です。

Q 誰でもなれる？

A 18歳以上の人で、遠野市に住所があるか、遠野市内で働いている人であれば誰でも入団できます。2日間程度の初任研修を受ければ、晴れて1人前の団員です。

Q 訓練は大変？

A 団員は、休日や仕事が終わった後などに集まって訓練を行っています。会社員や主婦、学生でも無理のない範囲で行われています。

Q 1年間の活動日数は？

A 災害や火災などの有事の出動を除けば、各種行事や訓練、活動などを合わせて年間10日前後です。平時の活動は、仕事などで都合が悪い場合は欠席することもできます。

Q 女性でも、入団できる？

A 現在、36人の女性団員が活動しています。女性の持つソフトな面を生かし、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問や普及啓発活動など、さまざまな場面で活躍しています。

守りたい人がいるからー。



写真/市消防操法競技会で優勝した拓也さん。次の大会に向けた訓練に励んでいます。この日も、訓練から帰ってきたお父さんを、家族みんなで出迎えていました(右から)次男の冬真君を抱っこする奥さんの由香里さん、長男の惇斗君、長女の紗衣ちゃん、三男の康介君を抱っこする拓也さん



Takuya Kikuchi

第5分団第2部
菊池 拓也さん
 35歳=松崎町=

団員を続けられるのは、家族の笑顔を守りたいから。

消 防団に入って今年で9年目。活動を後押ししてくれる妻や子どもたちには、本当に感謝しています。

地域の消防団の先輩方は、本当に尊敬できる存在です。消防操法をはじめ、「地域を守る」ことに、本気で取り組んでいるから。技術的なことも、精神的なことも、たくさん学び

ました。次は、先輩から教わったことを、後輩に伝えていきたいと思っています。

消防団員として、災害に強い地域をつくることは、自分の家族を守ることに繋がると信じています。

愛する家族の笑顔を守りたい。だから、これからも団員を続けていくつもりです。

守ることは、守られることー。消防魂を、未来へ。

昔 は、消防団の役割と言えば消防活動が主でしたが、東日本大震災を経験し、私たちは防災活動の重要性を認識させられています。特に、高齢社会では地域の防災力の維持が課題であり、消防団の果たす役割は、より一層高まっています。

大規模災害に対応するためには、地域の実情に精通した消防団の力が必要不可欠。今後は、市内11の地区センターを拠点に、自主防災組織などと連携しながら、地域密着型の活動が必要だと考えています。

その上で、いかに団員を確保し、世代交代させていくかが課題です。少子高齢化や被雇用者の増加に伴い、若手団員が減少しています。このままでは、地域で受け継がれてきた「消防魂」と言われる技術や経験、心意気が途絶えてしまいます。「消防団に入りたい」と思えるような環境整備が、より一層必要だと感じています。

消防団活動は、周囲の理解と支えなしには、続けられません。まず、なぜ消防団は必要で、どのような活動をしているのかを、市民の皆さんに知っていただくことが大切です。

特に、団員が勤める事業所には、消防団のPRを積極的に行い、協力いただけるように努力していく必要があります。また、消防団活動に参加するメリットを作ることも必要です。例えば、活動に1回参加したら、子育て支援施設の利用料を1回分免除するなど、子育て支援とセットの特典を設ければ、家族の理解も得られるのではないのでしょうか。

消防団は、愛する地域を、そして、愛する人を守るためにあります。守ることは、守られることー。共助の精神が、消防団には息づいています。その思いを未来へ受け継ぎ、安心して安全な地域をつくっていくことが、私たちの役割だと思っています。



Katuyuki Matuda

遠野市消防団 団長
松田 克之さん
 63歳=中央通り=

特集

消防団

守りたい人がいるからー。

理解することから

消防団員は、特別な人になっっているわけではない。それぞれの仕事を持ち、家庭を持つ、一般の人だ。「自分たちの地域は、自分たちで守る」守りたい人がいるからーという使命感が、彼らの原動力だ。今、私たちが当たり前に思っている安全で安心な暮らしは、彼らの思いと行動

消防団の未来

消防団の未来は、地域の未来と重なる。
 安全で安心な暮らしを次世代につなぐために、
 私たちにできることは何だろうか。

行動が未来を拓く

に支えられている。その事実を、私たちはどれだけ理解していたらだろうか。高齢化が進む地域では、消防団への期待が高まる一方、団員の担い手不足が叫ばれている。いつまでも、団員たちの使命感に頼り続けてはいけない。次は、私たちの番だ。まず、消防団について理解することから始めよう。そして、ひとり一人が、できることを行動に移そう。

団員には、誰でもなることができる。消防団の活動を支えることだってできる。守ることは、守られることー。あなたの行動は、自分と、自分の愛する家族を守ることに繋がります。消防団が育んできた共助の心を、そして、災害に強く、安全で安心な遠野の暮らしを、子どもたちに胸を張って手渡そう。あなたの行動が未来を拓く。さあ、できることを今すぐに。あなたの大切な人を守るためにー。

Information インフォメーション

消防団員募集中

市では、遠野市消防団の団員を募集しています。消防団員は、まちを守り、心をつなぐ、自主的な防災のためのボランティアです。愛する地域を、そして、愛する人を、一緒に守りませんか？

★消防団に関する詳細は…

消防団 検索
<http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

★興味のある方は…

電話で相談に応じていますので、お気軽にどうぞ。すぐに入団を決める必要はありません。
 遠野消防署消防団係(☎62-2119)